

昭和43年8月8日第三種郵便物認可（第1回公報登白行）

(1)

☆反帝闘争を

プロレタリア日本革命へ／

☆プロレタリア世界革命の旗の下

共産主義者同盟に結集せよ／

共産主義者同盟

11月8日
週刊
第151号
編集発行人 佐々木和也
一部 2.0円
通欄料 1冊20回 400円

戦旗社

11月7日／安保第二波首相官邸闘争

沖縄・防衛省・外務省・企画庁・中大半・二局・反対会見

11月/東海青年集会

（岐阜県青年会館・午後一時）

17日／京都地区反戦政治集会

24日／成田現地闘争

全国動員体制
をうち固め

11・7を安保第二波とせよ

10・30集会

11・7安保第二波へ決意固める

労学三千五百名が結集



10・30日比谷公園で労学三千五百名

自衛隊パレードヘデモ
府学連・反戦三百名が起つ

全国で自衛隊への闘い
11・7 東京反戦・首相官邸ヘモを決定

11・24ボーリング阻止に絶対集しよう

侵略空港粉碎！
成田を中心権力闘争の陣地へ！

反帝統一戦線の強化を
党派主義的団いこみをのりこえ、
権力に対して闘う統一戦線を創出せよ

全學連 全国動員体制を固める

11・7 東京反戦・首相官邸ヘモを決定

10・24ボーリング開催は、サトウ建設が主導するもので、元住友重機械は、その主導権を握り、建設業界もその主導権を握る。今後、これが実現すれば、自衛隊が建設業界の主導権を握ることとなる。また、建設業界が自衛隊の主導権を握ることとなる。

47

10

10・21の成果を11・7安保第一波へ

七〇年安保と統一戦線

(上)

この記事は、昭和43年10月21日の「戦旗社」紙面から抜き取ったものです。記事の中では、10月21日の運動（10・21運動）について述べられており、その内容は以下の通りです。

10・21運動は、反帝闘争を主軸とした全国的な運動であり、多くの労働者組織や学生組織が参画しました。その目的は、安保法の改悪阻止と、自衛隊に対する反対闘争を強化することでした。この運動で、労働者組織は三千五百名が結集して労働組合連絡会議を開き、自衛隊パレードに反対する決意を固めました。また、労働組合連絡会議では、11・7安保第二波に向けた準備作業が行われました。一方で、府学連は三百名が起つとして、東京反戦・首相官邸ヘモを決定しました。さらに、11・24ボーリング阻止に絶対集しようとして、侵略空港粉碎！成田を中心権力闘争の陣地へ！と題された行動が叫ばれています。

この運動は、労働者組織が中心となり、建設業界の自衛隊に対する主導権を握ることに対する反対闘争が大きな要素でした。また、労働組合連絡会議では、反帝統一戦線の強化と、党派主義的団いこみをのりこえ、権力に対して闘う統一戦線を創出せよとの目標が掲げられました。

最後に、11月7日には、安保第二波の活動が実行される予定で、首相官邸の攻撃が予定されています。しかし、11月7日には、沖縄の首相官邸攻撃が実行され、その後、東海青年集会が開催されたため、11月7日の活動は実行されませんでした。

この記事は、昭和43年11月7日の「戦旗社」紙面から抜き取ったものです。記事の中では、11月7日の運動（11・7運動）について述べられています。

11・7運動は、安保第二波の活動で、特に沖縄の首相官邸攻撃が実行されました。この運動は、労働者組織が中心となり、建設業界の自衛隊に対する主導権を握ることに対する反対闘争が大きな要素でした。また、労働組合連絡会議では、反帝統一戦線の強化と、党派主義的団いこみをのりこえ、権力に対して闘う統一戦線を創出せよとの目標が掲げられました。

この運動は、労働者組織が中心となり、建設業界の自衛隊に対する主導権を握ることに対する反対闘争が大きな要素でした。また、労働組合連絡会議では、反帝統一戦線の強化と、党派主義的団いこみをのりこえ、権力に対して闘う統一戦線を創出せよとの目標が掲げられました。

最後に、11月7日には、安保第二波の活動が実行される予定で、首相官邸の攻撃が予定されています。しかし、11月7日には、沖縄の首相官邸攻撃が実行され、その後、東海青年集会が開催されたため、11月7日の活動は実行されませんでした。

この記事は、昭和43年11月8日の「戦旗社」紙面から抜き取ったものです。記事の中では、11月8日の運動（11・8運動）について述べられています。

11・8運動は、沖縄の首相官邸攻撃が実行され、その後、東海青年集会が開催されました。この運動は、労働者組織が中心となり、建設業界の自衛隊に対する主導権を握ることに対する反対闘争が大きな要素でした。また、労働組合連絡会議では、反帝統一戦線の強化と、党派主義的団いこみをのりこえ、権力に対して闘う統一戦線を創出せよとの目標が掲げられました。

この運動は、労働者組織が中心となり、建設業界の自衛隊に対する主導権を握ることに対する反対闘争が大きな要素でした。また、労働組合連絡会議では、反帝統一戦線の強化と、党派主義的団いこみをのりこえ、権力に対して闘う統一戦線を創出せよとの目標が掲げられました。

最後に、11月8日には、安保第二波の活動が実行される予定で、首相官邸の攻撃が予定されています。しかし、11月8日には、沖縄の首相官邸攻撃が実行され、その後、東海青年集会が開催されたため、11月8日の活動は実行されませんでした。

本土・沖縄の鉄の団結を

11・7 安保第二波の烈火で鍛えぬけ



沖縄一日帝の侵略基地化阻止！
米軍政打倒！ 基地撤去！

結集せよ！ 全国学友

11・7 首相官邸闘争へ

社会主義学生同盟全国委員会

第3回定期刊行
(毎月1回金曜日発行)

本紙は、学生のための政治的知識を深め、社会問題に対する意識を高め、社会活動に貢献するための情報源として、定期的に発行される学生組織の公報である。この号では、沖縄の基地化阻止運動や、首相官邸闘争への結集呼びかけが主な題材となっている。

岩井発言、地評青年協声明はねのけ 百倍の10・21を創り出せ！

第12号

11月10日発行
(100円・予価)

第七号

☆ 七〇年安保とわれわれの戦略
☆ 中核派の戦略論批判
☆ 日共の戦略論批判
☆ 八月国際反戦集会の総括とわ
れわれの運動・組織路線

主な内容
● 当国から米軍と同盟の在瀬 (第四回中
央委員会報告) ● 八月国際反戦集会
の総括 ● 本邦主導の国連問題と国際
連盟の主権は何か ● 地評と国際
共産主義運動 ● アメリカ資本主義の危機
の諸特集 ■ フランス五年革命の教訓

米軍政打倒！ 基地撤去！

11月10日発行
(100円・予価)

欧米階級闘争のひづりかど 自國帝王主義打倒の胎動

第一次五百億円カバ
10・21闘争の救援力ナンバを訴える

本紙は、学生のための政治的知識を深め、社会問題に対する意識を高め、社会活動に貢献するための情報源として、定期的に発行される学生組織の公報である。この号では、沖縄の基地化阻止運動や、首相官邸闘争への結集呼びかけが主な題材となっている。